

⑥2 一般国道340号（仮称）今泉大橋工区

受賞機関 岩手県 沿岸広域振興局 土木部 大船渡土木センター

キーワード 多重防災型のまちづくりと一体となった災害に強い道路、高台移転地、事業の見える化

全建賞審査委員会の評価ポイント

高台移転地間を連絡する道路の橋梁整備事業。他工事での発生土砂を盛り土材料として有効活用しコスト削減を図るとともに、事業の見える化として地元小学生の見学会実施などを通じて、地域の復興や活性化に繋がる架橋が実現したことが評価された。

1. はじめに

一般国道340号（仮称）今泉大橋工区は、陸前高田市の中心である高田地区と気仙川を渡河し今泉地区を連絡する主要幹線道路であり、当市の復興、発展を支えるうえで必要不可欠な道路である。東日本大震災津波により、高田地区、今泉地区ともに壊滅的な被害を受けたことから、多重防災型のまちづくりと一体となった災害に強い道路を整備したものである。

本事業では、津波浸水区域を避けた災害に強い道路整備を行うことによって、災害時等における確実な緊急輸送等が可能な道路を整備することができ、令和3年11月29日に今泉大橋を含むL=2.6kmが全線開通した。

2. 事業の概要

本工区は、高台移転地である今泉地区と高田地区を結ぶ道路として道路計画を策定し、他事業（土地区画整理事業、防災集団移転促進事業等）との調整を行いながら、一般国道340号の“新たなゲートウェイ（起点）”として整備を実施したものである。



全景写真

3. 事業の成果

本工区の整備により、東日本大震災津波の浸水地域を回避し、同規模の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備することにより、災害時等における確実な緊急輸送機能を確保するとともに、国道45号～三陸沿岸道路（陸前高田IC）間のアクセス性向上による観光・産業振興が促進されることにより、三陸沿岸地域の復興を力強く後押しした。

また、本事業では“事業の見える化の取組み”として、地元の陸前高田市立気仙小学校及び高田小学校を対象に、橋名板取付セレモニーのほか、復興事業の一環で現場見学会を開催し、橋梁の床板に大好きな陸前高田市への想いを込めたメッセージ「We♥高田」の文字にペイントしていただいた。両校のペイントは一体的なメッセージとして橋上に描かれ、両校の“絆”と“想い”が刻まれ、今泉大橋が将来に渡り、地域に末永く愛されるインフラとなることを期待している。



橋名板取付セレモニー（令和3年3月3日）



今泉大橋に描かれた「We♥高田」のペイント

4. おわりに

東日本大震災津波から11年が経過しましたが、これまで本県の復興事業に携わったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

賛助会員 中央コンサルタンツ(株)、(株)平野組、北日本機械(株)、吉田測量設計(株)